

2025年9月14日（日）第二礼拝「御霊の祈り」ローマ8章26～27節

この聖書箇所には、聖霊様が私たちのために祈ってくださると書かれています。聖霊様は、私たちの祈りの生活のためにとっても重要な役割を担っておられます。

第一番目、聖霊様の祈りです。「…私たちは、どのように祈ったらよいかわからないのですが、御霊ご自身が、言いようもない深いうめきによって、私たちのためにとりなしてくださいませ。」（ローマ8：26）私たちはどう祈ればよいのか分からない上、祈る時には邪魔も入ります。しかし、聖霊様が私たちの祈りを助け、とりなし祈ってくださいます。聖霊様は人間の心を探り窮めるお方で、私たちの願いや必要のすべてをご存知であり、また同時に神様の心もご存知です。そして、神様と私たちの間で祈りの仲介をしてくださいます。

御霊の祈りは霊の祈り、異言です。神様だけが異言の祈り（御霊が祈る祈り）を聞いておられます。「異言を話す者は、人に話すのではなく、神に話すのです。だれも聞いていないのに、自分の霊で奥義を話すからです。」（Ⅱコリント14：2）聖霊様は、異言を通して、疑いや恐れがある私たちの心をも包みこみ、直接神様のもとへ私たちの祈りや願いを持って行ってくださいます。ですから、御霊の祈りは素晴らしい祈りなのです。

第二番目、聖霊様に祈りをゆだねることです。聖霊様は祈りの弁護士であり、父なる神様の心も、私たちの心をも探り窮めておられるお方です。この聖霊様に「私の口、舌、霊を用いて祈ってください。」と完全に私たちの主導権をゆだねることが大切です。「心を尽くして主に拠り頼め。自分の悟りにたよるな。あなたの行く所どこにおいても、主を認めよ。そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。」（箴言3：5～6）すべてをゆだねる時、主が私たちの代わりに祈ってくださいます。

また、祈りの中で主の報いを信じるのが大切です。主の報いとは、イエス様が十字架を通して成し遂げられたこと、罪の赦し、癒し、勝利、聖霊充満、復活と永遠のいのちです。私たちが祈り求めたもの、主の報いをすでに受けたと信じ、宣言しましょう。悪い状況に見えることがあっても、聖霊様とともにねばり強く祈り続けましょう。

第三番目、祈りの答えです。主の答えは、超自然的な心の平安と喜びです。聖霊様とともに異言で祈る時、漠然としたことが明確になり、不可能に見えていたことに対して解決策が与えられ、夢や幻で神様からのアイデアを受け取ります。異言を続けていくと、祈りが深くなり、主から力が来ます。聖霊様が私たちに臨まれ、エルサレム、ユダヤ、サマリヤ、地の果てにまで主の証人となる力を受けることができるのです。

また、異言の祈りを通して主の御言葉の約束が現実のものとなります。祈りの中で痛みが消えたという証もあります。異言を通して精神的にも安定し、必要な経済が満たされ、人間関係が良好になり、祈っている相手に対して深い憐みの心が湧き起こります。祈りの弁護士である聖霊様に私たちの主導権を明け渡し、忍耐して祈り続けるなら、神様が力を与えてくださいます。これがリバイバルの力です。アーメン！